学校番号	413

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校　数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	クリアー　数学Ⅱ＋B　（数研出版），　エクセル数学Ⅰ＋A（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学演習はこれまで学んできた数学Ⅰ・Ⅱ・A の基礎力の充実を図り、日常生活においても、それらを活用できる数学の活用力の育成を図ることができる科目です。数学は学習を通して論理的な思考力や直観力、適切な判断力を身につけることができます。これらの力は実社会で必ず役に立ちます。ぜひ、積極的に学んでください。
具体な学習方法としては、例題や問題などをまずは自力で考える習慣をつけましょう。上記のような力を養うには自分で考える時間をなるべく多くすることがとても大切です。授業をきちんと受けて、解答を先に見ないで例題や問題を自分で解いてみましょう。もし理解が十分でないと思うときは、参考書・授業のノートを見て解決の方法を考えてみることが大切です。問題が解けたら答え合わせも必ず行いましょう。答え合わせは自分がどこでつまずいているかを確認するための大切な作業です。このことを授業中はもちろん、家庭学習においても常に意識して最後まであきらめずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

以下の資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
数学Ⅰ・数学 A・数学Ⅱ（積分）の基本を振り返り、定義・公式を理解・活用し問題を解く。
【思考力、判断力、表現力等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学の学習を通して論理的に事象を考察する力を培い、それらを活用する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題演習を通して、数学Ⅰ・数学 A・数学Ⅱにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	問題演習を通して，数学Ⅰ・数学 A・数学Ⅱにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。	問題演習を通して、数学全般の考え方に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用しようとしている。数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度や創造性が養われている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第6章 微分法と積分法	**第3節　積分法** **6　不定積分** **7　定積分** **8　定積分と面積**	a:不定積分及び定積分の意味について、理解し，公式・性質を正しく活用することができる。 b:微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。 c:事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	授業態度 課題プリント 提出ノート
2学期	演習①	数と式	a:公式・性質を正しく活用することができる。図やグラフを活用し、正確に問題を解答することができる。 b:問題演習を通して、事象を的確に表現し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて論理的に考察することができる。また、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。また、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、分析を行うことで、問題を解決することができる。また、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。 c:問題演習を通して、数と式、集	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	提出ノート 課題発表 授業態度
	演習②	集合と論証				
	演習③	2次関数				

	演習④	図形と計量	合と論証、2次関数、図形と計量およびデータの分析における考え方により関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしており、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。			
	演習⑤	データの分析				
3学期	演習⑥	場合の数と確率	a:公式・性質を正しく活用することができる。図やグラフを活用し、正確に問題を解答することができる。 b:図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見いだし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。 c:問題演習を通して、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質における考え方により関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしており、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	提出ノート 課題発表 授業態度
	演習⑦	図形の性質				
	演習⑧	数学と人間の活動				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度